

## 平成29年度 下越地区中学校卓球大会 要項

- 1 期 日 平成29年7月4日（火）・5（水）
- 2 会 場 水原総合体育館 〒959-2025 阿賀野市岡山町 10-15（0250-62-0656）
- 3 主 催 新潟県中学校体育連盟 下越地区中学校体育連盟
- 共 催 阿賀野市教育委員会
- 5 主管（協力） 二市北蒲中学校体育連盟
- 6 後 援 阿賀野市体育協会
- 7 日 程
- |           | 1 日 目             | 2 日 目                 |
|-----------|-------------------|-----------------------|
| 開 場       | 8 : 0 0           | 8 : 0 0               |
| 受 付       | 8 : 1 0 ~ 8 : 3 0 | 8 : 1 0 ~ 8 : 2 0     |
| 監督会議・公式練習 | 8 : 3 0 ~ 9 : 0 0 | 8 : 2 0 ~ 8 : 5 0     |
| 開 会 式     | 9 : 0 5 ~ 9 : 2 5 |                       |
| 会場準備      | 9 : 2 5 ~ 9 : 3 0 |                       |
| 試合開始      | 9 : 3 0           | 9 : 0 0               |
| 終了予定      | 1 6 : 0 0         | 1 5 : 3 0             |
| 閉会式予定     |                   | 1 5 : 4 0 ~ 1 6 : 0 0 |
- 8 組合せ 6月13日（可）午前9：00～ 新発田市立川東中学校にて、専門委員で行う。
- 9 チーム 監督1名、コーチ1名（当該校教員または外部指導者）選手10名、マネージャー1名（教員または生徒） 計13名
- 10 出場数（郡市大会から下越大会への出場枠）  
団体戦16チーム（各郡市4チーム）、個人戦64人（各郡市16人）
- 11 試合方法 （1）団体戦・個人戦とも1試合11点5ゲームスマッチとする。  
（2）団体戦 ○4シングル 1ダブルス ダブルスを3番に置き6名で構成する。  
○男女別の全校在籍生徒数が4・5名でも出場できるが、オーダーは次のように置き、該当校は監督会議で申し出る。  
5名→2・3・4・5番、4名→3・4・5番  
○**申し込み時点で選手数が6名に満たない場合は、出場資格がない。**  
（3）個人戦 男女別トーナメント
- 12 試合日程 原則的にタイムテーブルによって、試合を進行する。タイムテーブルより遅れた場合及び遅れる恐れがある場合は、時間とコートを変更する場合がある。
- 1 日目 ○個人戦（1、2回戦）  
○団体戦予選リーグ（1リーグ4チーム総当たり）と団体戦ベスト8による決勝リーグ進出決定戦  
※予選リーグ2位のチームは、予選リーグの対戦校との対戦を避け、抽選で決勝リーグ進出決定戦の対戦校を決める。
- 2 日目 ○団体戦決勝リーグ  
○個人戦（3回戦から決勝まで）  
※個人戦は、シード権（3～8位）決定戦を行う。
- 13 申 込 参加校は所定用紙に記入し、6月7日（火）16時必着で当該郡市中体連事務局まで参加料（一人300円）を添えて申し込む。あわせて、**デジタルデータを下記メールアドレスまで送信する。master@kawahigashi-j.shibata.ed.jp**
- 14 表 彰 団体戦3位まで（1、2、3、3位）  
個人戦5位まで（1、2、3、3、5、5、5、5位）
- 15 県大会出場 男女とも団体戦上位3チーム 個人戦ベスト16
- 16 競技上のルール及び注意事項
- ルール** 平成28年4月1日改正の日本卓球ルールと本大会要項による。
- 試合球** 日本卓球協会公認球のニッタクプラ3スタープレミアム（40mm）を使用する。
- 選手** ①選手は、プレー領域では短パン、ユニフォームでゼッケンを正しく着用する。ユニフォームの裾は、短パンの中に入れる。

- ②ラケット、ラバーは正規のものを使用する。違反の物は使用できないので、ラケットは取り替え、ラバーは貼りかえる。なお、ラバー破損の判定は、内部に破損箇所がある、もしくは縁なら3mm程度の破損が3つ以上ある場合をめどとする。
- ③ラバーを貼りかえる必要が生じた時は、次のことを守ること。
  - 決められた接着剤または、接着シートであること。
  - 指定された場所で貼ること。
- ④団体戦の第1試合では、選手のユニフォームをそろえることが望ましい。
- ⑤選手は原則的に自分の試合が終了するまでプレー領域を出てはいけない。

#### ゲーム

- ①不正サービスと判断した時は、1回目注意、2回目からはボールストップをかけ、審判長の判断をあおぐ。特に次の2点に注意。
  - 手のひらから16cm以上の高さにボールをほぼ垂直に上げ、最高点から落下する途中で打つ。
  - サービスが開始されてから、ボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレーイングサーフェスよりも高い位置で、かつサーバー側のエンドラインの後方になければならない。またその間、サーバーまたはダブルスのパートナーの体の一部または着用している物で、ボールをレシーバーから隠してはならない。さらにボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーハンドと腕を、ボールとネットの間の空間の外に出さなければならない。
- ②1マッチに1回1分以内でタイムアウトをとることができる。タイムアウトを要求できるのは、団体戦では監督・競技者・組、個人戦では競技者・アドバイザーである。
- ③競技の進行を故意に妨げない。(タオルの使用・眼鏡清掃等は6本ごと、ゲーム間の休憩は1分以内、サービスをする前などに床に何回もボールをつかない。)
- ④団体戦のアドバイスはベンチの誰から受けてもよい。個人戦のベンチに入るアドバイザーは1マッチ1名とする。(マッチ途中でのアドバイザーの交代はできない。)
- ⑤応援は、バッドマナーにならないように注意する。フラッシュ・ストロボは禁止。

#### 注意事項

- 練習は公式練習のみとする。
- 1日目は、昼食時間は設けない。
- スポーツドリンクは可。ただしフロアにはペットボトル・スクイズボトル等で持ち込む。
- 選手宣誓は前年度団体戦優勝校(今年は女子=阿賀野市立安田中学校)

#### 17 競技役員

競技委員長	長谷川 覚 (安田中学校校長)
競技副委員長	藤原 靖也 (安田中学校教頭) 須貝 則明 (下越地区専門部長)
総務	須貝 則明 (新発田川東) 丸田 幸恵 (黒川) 清野 浩 (本丸)
	近 忠浩 (荒川) 船浪 武男 (五泉北) 木村 博 (平林)
	中村弥有紀 (水原) 鈴木 隆士 (阿賀津川)
審判長	<後日決定>
審判	<委嘱後決定する>
進行	<後日決定>
記録	<後日決定>
審判割	<後日決定> ( )
県大会申込受付	須貝 則明 (新発田川東)
式典・会場	中村弥有紀 (水原)
救護	<後日>

#### 18 生徒役員

式典・救護・会場・記録・補助員(カウンター)は協力校・専門委員の学校の卓球部員で構成する。

#### 19 その他

- ①個人戦のアドバイザーは最大で出場選手数まで登録でき、どの選手にどのアドバイザーが付いてもよい。登録された外部コーチも同様である。
- ②コーチ、アドバイザーについては当日の変更を認める。(監督会議で申し出る。)
- ③「下越地区大会参加における申し合わせ事項」を守る。
- ④緊急病院名 <大会プロに記載>